

令和 5 年度

事業者番号	2058	事業所番号	205800
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	熊谷東小学校	前年度における事業所数	105
代表事業所所在地	市区町村	熊谷市	
	字・地番	末広3-4-1	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	81 学校教育		
分類番号(中分類)	81		
事業活動の概要	市の人口 188,244人(令和5年4月1日) 市の面積 159.82km <sup>2</sup> 市(教育委員会部局)の職員数 223人(嘱託職員を含む)(令和5年4月1日現在) 市有施設の延べ床面積 350,546.42m <sup>2</sup>		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間	2	年度	～	6	年度		
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	基準となる排出量	4,497	t-CO <sub>2</sub>	基準となる原単位		t-CO <sub>2</sub> /km <sup>2</sup>
	2013年度(平成25年度)排出量4,497 t-CO <sub>2</sub> を基準として、2024年度(令和6年度実績、令和7年度提出分)までに温室効果ガスの総排出量を16%削減します。						
	その他ガス						

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間	7	年度	～	11	年度	
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	基準となる排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準となる原単位	
	その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	熊谷東小学校	熊谷市末広3-4-1
2	別紙参照	
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

### 3 事業所の温室効果ガス排出量

#### (1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	2,577	2,940	2,948		

#### (2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	基準 4,497	5,224	5,947	5,957		
	前年度比 (%)	—	13.8	0.2		
	基準となる排出量に対する削減率 (%)	-16.2	-32.2	-32.5		
その他ガス	非エネルギー起源CO <sub>2</sub>					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		5,224	5,947	5,957		

#### (3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO<sub>2</sub>）

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>/指標)

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位	基準	14.8832	16.9744	16.9938		
	前年度比 (%)	—	14.1	0.1		
	基準となる原単位に対する削減率 (%)					
活動規模の指標	単 位	351.00	350.35	350.54		
	床面積 km <sup>2</sup>					

(4) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	<p>コロナ禍による休校などで、全体的にCO<sub>2</sub>排出量は減少した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・灯油：-35%</li> <li>・重油：-5%</li> <li>・LPG：-11%</li> <li>・電気：-12%</li> </ul> <p>ただ、都市ガスのみは前年度比で27%の増加となった。これはコロナ対策により窓を開けてガスヒーポンエアコンの仕様を行ったためと考えられる。</p>
令和3年度 (2021年度)	<p>コロナ禍による休校が長期間あった令和2年度と比較すると、全体的にCO<sub>2</sub>排出量は増加した。</p> <p>特に換気を行いながら使用した空調設備や石油ストーブの使用時間の増加が主な要因と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・灯油：+25%</li> <li>・液化石油ガス：+15%</li> <li>・都市ガス：+2%</li> <li>・電気：+17%</li> </ul>
令和4年度 (2022年度)	<p>灯油に関しては、新型コロナウイルス感染対策のため、換気を行いながら石油ストーブを利用したことに伴い使用時間が増加し、前年比12%増加となったことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・灯油：+12%</li> <li>・重油：-7%</li> <li>・都市ガス：+1%</li> </ul>
令和5年度 (2023年度)	
令和6年度 (2024年度)	

## 4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	推進体制の強化【毎年継続】	R4	R4	
2	110300	一般管理事項	11_計測及び記録の管理	エネルギー使用量の記録の徹底【毎年継続】	R4	R4	
3	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	エネルギー使用量の管理の徹底。各光熱水費の使用料管理【毎年継続】	R4	R4	
4	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネルギー	使用するエネルギーの節約の徹底(灯油の節約、ウォームビズ励行、残業する際は同じ部屋で行う等)【毎年継続】	R4	R4	
5	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	使用するエネルギーの節約の徹底、デマンドコントロールの実施による出力抑制、設備使用状況の詳細な記録【毎年継続】	R4	R4	
6	140100	給湯設備、給排水設備、冷凍冷蔵設備、厨房設備	14_給湯設備の管理	使用するエネルギーの節約の徹底(ガスの元栓をまめに閉開、使用時のみ沸かすようにすることによる省エネ)【毎年継続】	R4	R4	
7	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	使用するエネルギーの節約の徹底(LED照明灯など高効率照明への交換推進、昼休みなど不要な時間帯における照明の消灯)【毎年継続】	R4	R4	
8	150300	受変電設備、照明設備、電気設備	15_事務用機器等の管理	使用するエネルギーの節約の徹底(離席時のPCシャットダウンの推進、プリンタ使用の削減)【毎年継続】	R4	R4	
9	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネルギー	省エネ機器への交換、熱反射・断熱フィルムの施工、壁面緑化の設置等【毎年継続】	R4	R4	
10	170300	負荷平準化	17_新エネルギー	太陽光システムの設置等【毎年継続】	R4	R4	
11	180200	その他	18_その他	ノー残業デーの徹底等【毎年継続】	R4	R4	
12	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネルギー	グリーンカーテンを全小中学校に設置。育成を小中学校で競わせるグリーンカーテンコンテストの実施【毎年継続】	R4	R4	
13							
14							
15							

## 5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

（※希望者のみ記載）

自由記述欄

